

RIN RIN FESTIVAL×TOKAI CYCLOCROSS



シクロクロスは競技として、雪や冬の雨のなかでも走るという非常にシリアスな面も持ち合わせていますが、東海シクロクロスの魅力はレースの展開を全て観られるコンパクトなコースレイアウトのなかで、飲食からアパレルまで多くのブース出展もあり、未就学児から60代まで幅広い層の参加者もあり家族や友人といっしょにレースを楽しめる事です。観戦だけで楽しんでいる方も多くいます。

競技の特性以上、公園など大きな施設を使用するので行政との連携も必要で、東海シクロクロスを通じてSDGsを取り組むとともに行政と連携し地方創生も行っています。

東海シクロクロス最終戦 豊田市川田公園では、東海シクロクロスではお馴染みのブース出展とともに、マウンテンバイクをハブに豊田市山間部で活動する団体が集まり、活動のピーアールをおこないます。当日、会場ではシクロクロスレース以外にもキッズが楽しめるキッズマウンテンバイクコースを常設し、いつでも体験できます。

- 豊田市内 出展社 -



土本自転車舎 × SALT WORKS

『自転車屋 × かばん屋』
稲武のフィールドから生まれたアウトドアバックの販売。



おいでんトレイル足助栃本

マウンテンバイクのイベントを通して里山の楽しさを伝えていきます。



マウンテンマテリアルズ

豊田市小原地区より、山の恵
・山の幸から生まれたDIY素材や松葉茶を全国的にお届けしています。

東海シクロクロス 2022-2023 最終戦 豊田川田公園

日 程 【レース】 2023年2月26日（日）
場 所 川田公園
主 催 東海シクロクロス実行委員会
開催規模 参加者 450人（予定、昨年平均数）
関係者・観戦者などを含め合計600名～700名程度の規模
会場は飲食ブース店舗、協賛企業等のブースが7店舗ほど

スケジュール		内容
2/25（土）	8：30～14：00	コース設営準備
	14：00～17：00	試走
2/26（日）	6：00～ 8：25	参加者入場・試走
	8：30～15：30	レース実施
	15：30～17：00	撤収作業（17時完了）



2022-2023年シーズンは競技の開催だけでなく、各会場の行政や地元事業者さんと積極的に連携し、マルシェを開催したり、親子で参加できるイベントを組み込むなど新しい試みをたくさんしています。

<東海シクロクロス>

愛知県・岐阜県を主会場として2015年より始まり、2022年で8回目となる。歴史を古くから持つ日本で最も参加者の多い「関西シクロクロス」への参加希望者があふれ、走る場所が無くなってきたことより、東海地方でもシリーズ戦としてスタートした。2019年シーズンは岐阜県1会場、愛知県6会場、三重県1会場で開催した。

東海シクロクロス 2022-2023 シーズン 実績

- 11月13日 第1戦 山県市 おおが城山公園 375名
- 11月26日-27日 JCFシリーズ第3戦 稲沢市ワイルドネイチャープラザ 214名
- 12月4日 第2戦 新城市 東郷ケッターパーク 421名
- 12月18日 第3戦 稲沢市ワイルドネイチャープラザ 515名
- 1月14日-15日 全日本選手権 稲沢市ワイルドネイチャープラザ 366名
- 1月28日 第4戦 日進市愛知牧場 620名
- 1月29日 第5戦 日進市愛知牧場 545名